



233号

理事長からのことば

一気に寒くなりました。12月初旬のような天気になりました。身体が慣れていないのでより寒く感じます。何となく体調が良く無い感じがしてしまいます。皆様もお気をつけください。

さて、すったもんだの末、内閣が変わりました。参議院選挙以来、ずっとガタガタして政治が停滞していました。ようやく動き出すのでしょうか。新内閣への期待度は今の所高いようです。ただ、無理やり数合わせでできたようなものなので、かつてのような安定した政権運営は難しいと思います。今後、よく見守っていかねばと思います。

最近、ある新聞の投書を見ました。
『高齢者ホーム お米や魚減らす』 投稿主は北海道の45歳の女性介護職員さんです。

私は高齢者グループホームに勤務し、食事のメニューを考える担当です。利用者の食事を毎日、スタッフで作っています。

お米の値上がりで、うどんや焼きそば、スパゲッティなど種類を増やしました。「お米もブレンド米にするか」という話が出ています。おかずも1品減らさないと赤字になってしまうなど、頭を悩ませています。利用者が好きな魚料理も週1回ほどに減らしたり、ブロッコリーも冷凍のものに変えたりして切り詰めています。漬物も9月末からやめました。

利用者さんの好物や、楽しみにしている物まで奪ってしまうのは非常に切ないです。

寒がりなお年寄りが多いので、これから暖房費もかさみます。心配は尽きません。

政治家のみなさんには、こうした現場の様子を知ってもらい、もっともっと物価高対策に力を注いでほしいものです。

切実な介護現場の職員の声です。9人単位でお暮しになるグループホームでは、

上尾市向山1-14-7
社会福祉法人 竹柿会
TEL：048-782-0575
FAX：048-782-0590
令和7年10月25日発行

ケアの一環でご利用者とともに食事を作ります。大手のグループホームでは、共同購入で安く仕入れた食材や調理済みの食材を使うようです。小規模なグループホームやまじめなホームでは、手作りにこだわっています。おそらく小規模なグループホームの話だと思います。そうすると予算規模も小さいので、ちょっとした値上げが響きます。それでこのような話になります。

私どもは比較的規模が大きいので、何とか持ちこたえていますが、委託している厨房業者はこのままだと赤字が見込まれるので、委託費と食材費を上げて欲しいと常に言ってきます。食事だけでなく、すべての面で物価高対策をしないと、いろいろな事業所が立ち行かなくなると思います。

高市政権は、物価高に対する対策をまず行うとしています。期待はするのですが、現場を知らない政治家や官僚が行うことなので、どこまで実効ある政策が打てるのか疑問です。介護業界には再来年の介護報酬改定を待たずに、報酬を引き上げるとしていますが、おそらく厚生労働省はICT化とか生産性向上といった条件を付けて、それを行った所にはたくさん報酬が出るような仕組みにするでしょう。そんな条件をクリアできるのは、大手のシステムが整った所だけです。今困っている零細な事業所には報酬改定の効果は行き届かないのではと思います。

10～11月の行事



デイサービスでは、運動会や10月の制作等さまざまなレクリエーションがおこなわれました。また、マリンバ演奏のボランティア様にもお越しいただきました。

特養では、お茶会やハロウィンパーティー等のレクリエーションがおこなわれました。

11～12月の予定



11月1日(2階)と11月8日(3階)に特養ご入所者様のインフルエンザ予防接種が行われます。

デイサービス、特養ともにさまざまなレクリエーションを企画しております。

お知らせ～面会制限の緩和について～

日頃、面会制限へのご協力厚く御礼申し上げます。

現在、お1人様週1回のご面会とさせていただいておりますが11月1日より面会回数の制限をなくすことと致しました。

つきましては、同封の「面会制限の緩和のお知らせ」をご一読いただけますようお願い申し上げます。



秋のお茶会



マリンバ&備前太鼓

